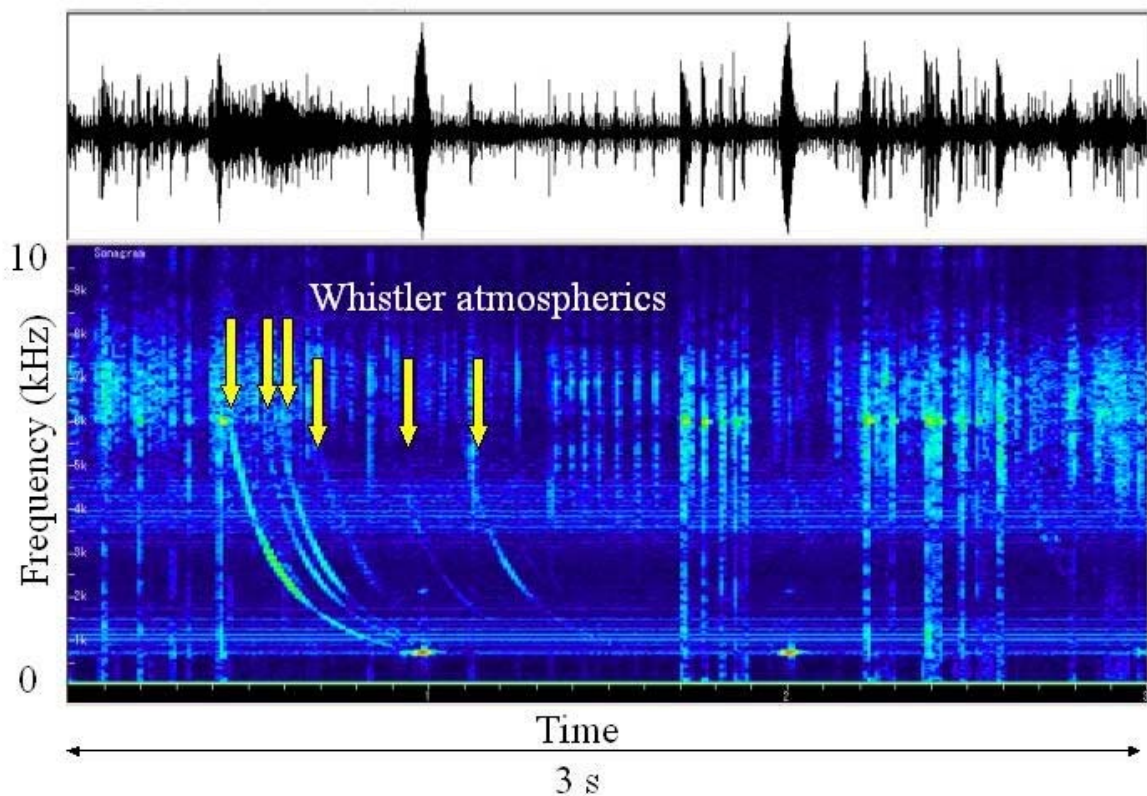


# STEL Database Report (2000-2009)



平成 12-21 年度  
名古屋大学太陽地球環境研究所  
データベース作成共同研究  
成果報告書



名古屋大学  
太陽地球環境研究所  
ジオスペース研究センター

表紙：鹿児島観測所 VLF 観測データベース

# STEL Database Report (2000-2009)

平成12－21年度

名古屋大学太陽地球環境研究所

データベース作成共同研究

成果報告書

名古屋大学

太陽地球環境研究所

ジオスペース研究センター



## はじめに

「平成12-21年度名古屋大学太陽地球環境研究所附属ジオスペース研究センター・データベース作成共同研究成果報告書」をお届けします。

「太陽地球環境の構造と動態の研究」を目的として、太陽地球環境研究所が名古屋大学附置の全国共同利用研究所として平成2年6月に設立され、「太陽地球環境に関する国際共同研究・観測の企画及び推進並びに観測データの標準化、データベースの構築及びその共同利用」を目的として平成7年4月に10年の時限で共同観測情報センターが発足し、データベース構築とその共同利用及び研究所の共同研究の支援を遂行してまいりました。そのセンター機能を拡充してかつ観測所を統合し、「時々刻々変化するジオスペース環境の研究基盤を支えるために定常的なデータベース構築とモデリング・シミュレーション連携研究を遂行するとともに、所内研究部門や所外共同研究者と連携・協力して分野・領域をまたぐ横断的共同研究プロジェクトを立ち上げ、その遂行に中心的役割を担うこと」を目的として平成16年4月にジオスペース研究センター（以下「センター」と書く）が発足しました。このセンターは、プロジェクトの企画・統括を行うマネジメント部とその実践・支援を担うプロジェクト推進部、そして分野横断的な観測協力が機動的に実施できるように一元的に再編成された観測所群から構成されています。

センター発足時に、小島正宜センター長（併任）が着任し、荻野瀧樹教授、阿部文雄助教授、西野正徳助教授、西谷望助教授、高橋けんし助手、藤木謙一助手が専任教員として活動を開始しました。研究所内外の意見を積極的に採り入れ、公正で透明な運営を行うためジオスペース研究センター運営委員会が発足し、平成17年1月から平成21年3月までに計7回の運営委員会が開かれました。また、平成18年度からセンターのプロジェクトと連携して総合観測事業の計画及び実施に関する企画・調査及び審議を行うため、従来の海外観測専門委員会（特別事業推進委員会）の発展として総合観測委員会がセンターの下に発足し、平成18年度から平成21年3月までに計4回の委員会が開かれました。さらに、平成17年4月には前澤裕之助手が、平成18年4月には梅田隆行助教が着任しました。平成20年3月には、小島センター長が定年退職し、入れ代わりに平成20年4月から荻野教授がセンター長に就任して現在に至っております。

センターは分野・領域横断的共同研究プロジェクト（第1期（2004-2009）領域横断的な重点共同研究プロジェクト）として次の3課題を掲げて、所内研究部門や所外共同研究者と連携・協力してプロジェクトを推進してまいりました。特に、この3つの領域横断的な重点共同研究プロジェクトは研究所の特別教育研究経費「ジオスペースにおけるエネルギー輸送過程に関する調査研究（2005-2009）」の重点共同プロジェクトとして、更に研究所の第1期中期計画の中心プロジェクトとして推進されました。

プロジェクト1：CME 素過程の研究（リーダー：徳丸宗利）

プロジェクト2：人工衛星—地上共同観測によるジオスペース研究の新展開  
（リーダー：塩川和夫）

プロジェクト3：太陽活動の地球環境への影響に関する研究（リーダー：増田公明）

それらの領域横断的な重点共同研究プロジェクトやデータ解析共同研究プロジェクトの推進を通して太陽地球環境の研究を支援するために、データベース作成共同研究と計算機利用共同研究を遂行し、さらに研究所の情報基盤整備と研究情報ネットワーク化を推進してまいりました。センター発足から6年が経過し、前回のデータベース作成共同研究成果報告書（平成8—11年度）作成からも10年が経過し、研究所の第1期中期計画（2004-2009）も平成21年度で終了しました。そこで共同観測情報センターの時期を含めて過去10年間のセンターの活動をレビューするために、センターが重点事業として研究所内外の共同研究者を支援し、あるいは協力して取り組んできましたデータベース作成共同研究の成果報告書がここに出来上がりました。お忙しい中、原稿をご準備頂いた研究代表者の方々には心からお礼申し上げます。また、本データベース作成共同研究成果報告書が何らかの点で皆様のお役に立つことがあるとすれば真に幸いです。

太陽地球環境のデータベース作成は長期間、しかも継続的に行うことが極めて重要です。更に今後研究所の第2期中期計画（2010-2015）や特別経費「太陽極大期における宇宙嵐と大気変動に関する研究（2010-2015）」プロジェクト推進のための研究基盤構築としても大変重要です。今後ともデータベース作成共同研究の更なる充実・発展に向けて、センターの教職員は更なる努力を果たしていく所存でありますので、引き続き共同研究者及び関連分野の研究者の皆様方のご協力とご支援をお願い申し上げます。

平成22年11月

太陽地球環境研究所ジオスペース研究センター長  
荻野瀧樹